ムスビの会ニュース

発行
ムスビの会
出版部

3 月の月齢
下弦　3 月　2 日
新月　3 月　9 日
上弦　3 月 16 日
満月　3 月 23 日

放射線に負けない人々の絆

悲劇から五年

福島の原発事故からもうすぐ五年になろうとしています。いまでも避難を余儀なくされている被災者の方々にお見舞い申し上げます。百万人に一人と言われていた小児甲状腺癌ですが、福島県では一次検査によって一六五名もの子どもが「悪性ないし悪性疑い」と診断されています。これは小児甲状腺癌の人口単位の発生率ではダントツで世界一です。

放射線の怖さ

放射線には物質の構造をバラバラにする解離作用があるため、人間が被曝するとアミノ酸の長くつながり合ったたんぱく質やコラーゲンなどが破壊される危険性があります。また遺伝子も塩基というたんぱく質が長くつながった構造なので、強い放射線を浴びると遺伝子がバラバラにくずれて崩壊してしまいます。そのため、遺伝子の傷や崩壊によって細胞の奇形やがんなどの病気を発症しやすい状況が作られます。

他にも酵素やホルモンもたんぱく質でできているため、そうした内分泌物質もバラバラに崩壊してしまい、新陳代謝が悪くなることから傷が治りにくくなったり、成長・発育不良や老化現象が出やすくなったりするのです。新陳代謝の最も盛んな器官は腸壁や皮膚、甲状腺、骨髄、生殖器といった場所ですが、放射線の害はそのような場所に出やすく、特に成長・発育の著しい赤ちゃんや子供に影響しやすいのです。

おむすびは心と体のケア食

では放射線の性質が分断や崩壊という切り離すエネルギーであるということは、細胞と細胞の絆を高める食べ物や気持ちの持ち方である程度対処できるということになります。「おむすび」というのは人の手の温もりをもって一粒一粒のお米がくっつきあって、しっかりとつながり合った食べ物です。手で握ったおむすびには、作り手の真心が込められています。

昔は、災害などの緊急事態が起きると、「炊きだし」といって、近所の人が心を込めて握ったおむすびが必ずふるまわれたものです。不安や恐怖でいっぱいの被災者の心をケアできる真心を濃縮した最高の食べ物がおむすびであり、落ち込んだ人たちの心を愛でつなぎとめ、「みんながついているから大丈夫だよ」という安心感をもたらすことができるのです。

しかも、そのおむすびが、放射線や化学物質を排泄する力の強い玄米ごはんを用い、収縮力の強い自然塩をつけて握り、解毒作用の強い梅干しを具に入れて、ヨードを含んだ海苔で巻いたものであれば最高ですね。

価値観の崩壊

これまでの我々の価値観は、他者との競争に打ち勝ち、トップに躍り出ること、そうして誰よりも多くのモノやお金を手に入れて、楽をして暮らすこと。このような価値観を知らず知らずのうちに刷り込まれてきたような気がします。言葉をかえれば自己中心主義を心の中で育ててきてしまった、ということでしょう。そうした価値観の方向性は他者との分断であり、競争に負けた人たちとの間では怒りや恨み、憎しみを生み、自分の心の中では、引きずり落とされる不安や恐怖を持ちながら生きなくてはならなくなります。

放射線漏れ事故という目に見える現象の背後にあるものは、放射能と同じような分断する気持ち、すなわち多くの人々の心の底にある潜在意識に今まで溜めこまれてきた我欲というネガティブなエネルギーの爆発であり、噴出であり、古い価値観の崩壊であると見ることもできるのです。

「和」の精神への転換

過去に蓄積されたネガティブな感情のエネルギーが解き放たれる中で、今までの古い価値観の転換がなされてきているようです。それはモノやお金に変えられないものがある、という意識です。これからの方向性は分断の反対である人と人との絆を深めることです。絆をつながりと言い換えてもよいかもしれません。具体的には分かち合ったり、助け合ったり、支え合ったり、譲り合ったり、認め合ったり、触れ合ったりという結びの精神です。この横と横のつながりを「和」の精神と言ってもよいでしょう。

糸を紡ぐのには縦糸と横糸のバランスが大切です。縦糸がその人の使命とすれば、横糸は人と人との絆に相当するのかもしれません。縦糸だけでは美しく、強固な織物はできないのですね。自分の使命という縦糸は人とのつながりの中で幾重にも美しく織りなされていきます。横糸は人との触れ合いであり、コミュニケーションであり、愛のネットワークと表現してもいいですね。そうして何事が起こっても崩壊しない、その人独自の美しい人生の織物を紡ぎながら、厳しい時代を助け合って乗り切っていきましょう。

ムスビの会　岡部賢二

今月のおすすめ

花粉症は肝臓の機能低下と関係しています。なぜなら春先は冬場に蓄えた脂肪分が溶け出す衣替えの時期で、油分の処理を担当するのが肝臓・胆のうの経絡だからです。ストレスや食べ過ぎ、飲酒、体が冷えていると肝臓が上手く働けず、浄化できない油分が血液中に漏れ出します。その汚れが細かな毛細血管の集まる鼻の粘膜、目の粘膜などで炎症を起こすのが花粉症です。花粉の刺激をきっかけにして排泄反応が起きると言ったらよいでしょう。この時期、肝臓の助けとなるのがカロチンなどのビタミンやカルシウム・鉄などのミネラル成分の多い春の野草です。中でもヨモギには肝臓を強化し、血液の浄化力を高める働きがあるので花粉症の対策品としておすすめです！

ヨモギ青汁　100ｇ　2,700 円（税込）　原材料：よもぎ（韓国産）
ヨモギの新芽だけを使用し、遠赤で焙煎しているので吸収率もよく、
風味もまろやかです。

九州産のフレッシュなヨモギを使用
よもぎ微粉末　50ｇ　2,160 円（税込）　原材料：よもぎ（九州産）
九州産のよもぎを収穫後、5 時間以内に乾燥し粉末化しました。
よもぎの鮮やかなグリーンと風味をお楽しみください。

最強のデトックス野草のブレンド
スギナとよもぎ微粉末　50ｇ　2,160 円（税込）　原材料：よもぎ（九州産）すぎな（九州産）
ミネラルと食物繊維が豊富なよもぎとスギナをブレンドしました。
スギナに含まれるケイ素は身体の中に溜まっている着色剤、薬物といった
さまざまな化学合成物質を体外に排出する役目を持つといわれています。

新発売　五行 UKIUKI シート　　700 円（税込）　サイズ：A2（横 420×縦 592 ミリ）

岡部賢二監修　／　吉度日央里製作

お待たせしました！陰陽五行の流れが一目でわかる UKIUKI シートが出来上がりました。私が監修し、オーガニックライターの吉度日央里さんが制作したものです。可愛いイラスト入りで、各臓器に配当する季節や色、味、匂い、顔のパーツ、体のパーツ、感情、料理法、食材などが五つの臓器ごとに描かれています。冷蔵庫やトイレなど目につきやすい所に貼っておけば、五行の考え方を楽に身につけることができます。大きさは A4 用紙の 4 枚分です。

内容（一部紹介）
例：肝の場合
・肝に配当されるもの
（季節、一日のどこか、色、味、匂い、顔のパーツ、体のパーツ、感情）
・肝が弱ったときの状態
・肝を弱める食べもの
・肝をよくする食材
・肝をよくする料理
・肝をよくする飲みもの
・肝をよくする心の在り方
・肝をよくする生活法

「木＝肝（肝臓・胆嚢系）、火＝心（心臓;小腸系）、土＝脾（胃・膵臓系）、金＝肺（肺・大腸系）、水＝腎（腎臓・膀胱・生殖器系）」の特徴がわかり、それぞれを弱める食事やよくする食事などを詳しく知ることができます。